

腰椎後方固定術の入院日程表

受持医: _____

	入院/手術前日	手術当日 (/)		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目~10日目	手術後11日目~退院
月/日	/ ~ /	手術前	手術後	/	/	/ ~ /	/ ~
検査 治療 処置	必要があれば、除毛や爪切りを行います	手術着に着替えます ストッキングを履きます	手術後、酸素吸入をします(時間は麻酔科の指示により異なります) 傷から排液を促す管が入っています 血栓予防の機械が足についてます	採血(1・3・5・7・10・14日目)、レントゲン撮影(7日目)を行います 傷口を(消毒して 削除)フィルム材で保護します → 歩行を開始するときを外します	→ 排液量に応じて管を抜きます	6日目腰椎のCT・MRIを撮ります 手術後9日目にフィルム材を剥がします。	
点滴 注射 内服	飲んでいる薬を確認します 	普段服用している薬があれば別紙(薬の服用中止指示説明用紙)に沿って服用して下さい 食べたり飲んだりできないので点滴をします 手術直前に抗生剤の点滴を行います	抗生剤の点滴2回を行います 痛みに応じて坐薬・注射の鎮痛剤を使用できます	抗生剤の点滴を3回行います 鎮痛剤の内服を開始します	抗生剤の点滴を1回行います		
食事	患者さんの状態により食事を出します 夜9時以降何も食べないで下さい 水、お茶は飲んでかまいません	朝から何も食べないで下さい 朝7時まで水、お茶は飲んでかまいません 	朝から食事を再開します				
活動 リハビリ	自由 <u>入院時の持ち物</u> 入院日程表、入院のしおり、基礎情報用紙、入院診療計画書、入院証書 輸血承諾書、特別療養環境入室申込書、診察券、保険証、保証金 現在内服している薬、下着類、ティッシュペーパー、かかとのある靴 T字帯 ダーメンコルセット(お持ちの方のみ) 状態によりリハビリが始まります	手術後はベッド上安静です(看護師が体位を変えます) 膀胱内に尿の管が入っています	看護師付き添いで歩行器を使って歩くことができます(歩行状態が安定していれば徐々に単独での歩行も可能になります) 歩行ができれば管を抜くことができます			入院前の歩行状態となり医師から許可が出れば退院可能です	
清潔	シャワーまたは体を拭きます			適宜、体を拭きます		医師に確認後、シャワー浴が行えるようになります	
説明 指導	薬剤師が訪問します 承諾書(入院・輸血等)を提出してください 手術前日までに麻酔科外来を受診します(/)	貴金属・指輪・時計・入れ歯・コンタクトレンズ・メガネ・ヘアピン等は必ずして金庫内に入れてください 手術室の看護師が訪問します		麻酔科医が訪問します 退院後、38度以上の発熱が続くようなら以下に連絡してください 緊急連絡先：練馬総合病院 03-5988-2290		退院先を決めてください <u><退院後の生活について></u> ・コルセットは医師から指示があるまでは装着してください。 ・腰を過度に曲げたり、重い荷物を持つことは避けてください。 ・特別にリハビリは必要ありませんが、毎日歩くようにしてください。	